

2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月10日

上場会社名 北越コーポレーション株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3865 URL <http://www.hokuetsucorp.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 岸本 哲夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 丸山 知成 (TEL) 03-3245-4500  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	193,984	20.0	16,473	—	23,113	—	22,580	205.9
2021年3月期第3四半期	161,596	△19.9	△2,890	—	1,742	△86.4	7,381	174.8

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 24,707百万円(224.0%) 2021年3月期第3四半期 7,625百万円(387.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	134.40	134.28
2021年3月期第3四半期	43.96	42.62

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	373,491	217,585	58.1
2021年3月期	363,075	195,419	53.6

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 216,904百万円 2021年3月期 194,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2022年3月期	—	7.00	—		
2022年3月期(予想)				17.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期(予想)期末配当の内訳 普通配当 7円00銭 特別配当 10円00銭

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	260,000	16.9	18,000	957.6	25,000	156.2	21,000	48.2	124.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	188,053,114株	2021年3月期	188,053,114株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	20,000,338株	2021年3月期	20,131,789株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	168,009,043株	2021年3月期3Q	167,919,491株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年は業界全体で需要が大きく落ち込みましたが、当年は持ち直しの動きがでてきており、特に洋紙、白板紙で販売数量が増加したことにより、売上高193,984百万円（前年同四半期比20.0%増）、営業利益16,473百万円（前年同四半期は2,890百万円の営業損失）、経常利益23,113百万円（前年同四半期は1,742百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純利益22,580百万円（前年同四半期比205.9%増）となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態及び経営成績に影響を及ぼしています。詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」に記載しております。

主なセグメント別の業績は、下記のとおりであります。

#### ① 紙パルプ事業

紙パルプ事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年は業界全体で需要が大きく落ち込みましたが、当年は持ち直しの動きがでてきており、特に洋紙、白板紙で販売数量が増加したことにより、増収増益となりました。

この結果、紙パルプ事業の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	177,491百万円(前年同四半期比 23.7%増)
営業利益	15,406百万円(前年同四半期は3,753百万円の営業損失)

#### ② パッケージング・紙加工事業

パッケージング・紙加工事業につきましては、液体容器の形状変更による受注減少等により、減収減益となりました。

この結果、パッケージング・紙加工事業の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	10,512百万円(前年同四半期比 12.7%減)
営業利益	15百万円(前年同四半期比 84.6%減)

#### ③ その他

木材事業、古紙卸業、建設業、運送・倉庫業をはじめとするその他事業につきましては、外部受注の増加はあった一方で、2020年8月に事業の撤退を意思決定し、一部事業の営業が終了したこと等により減収となりました。損益面においては、各種コストダウン効果等により増益となりました。

以上の結果、その他事業の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	5,981百万円(前年同四半期比 1.1%減)
営業利益	648百万円(前年同四半期比 134.8%増)

### (2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べて10,416百万円増加し、373,491百万円となりました。これは、主として受取手形、売掛金及び契約資産が17,728百万円、電子記録債権が1,575百万円、商品及び製品が2,955百万円、原材料及び貯蔵品が3,251百万円、投資有価証券が3,147百万円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が11,398百万円、流動資産その他の中に含まれる未収入金が1,733百万円、未収還付法人税等が1,394百万円、減価償却等により有形固定資産が3,574百万円それぞれ減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて11,750百万円減少し、155,905百万円となりました。これは、主として有利子負債が15,637百万円減少した一方で、未払法人税等が5,149百万円増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて22,166百万円増加し、217,585百万円となりました。これは、主として親会社株主に帰属する四半期純利益等により利益剰余金が20,098百万円、為替換算調整勘定が2,606百万円それぞれ増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年11月12日発表の通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,846	18,448
受取手形及び売掛金	49,653	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	67,382
電子記録債権	5,701	7,277
商品及び製品	22,374	25,330
仕掛品	2,378	1,976
原材料及び貯蔵品	22,712	25,963
その他	7,355	4,901
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	140,020	151,276
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	85,263	84,255
減価償却累計額	△53,994	△53,444
建物及び構築物（純額）	31,268	30,810
機械、運搬具及び工具器具備品	438,380	441,271
減価償却累計額	△374,249	△377,478
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	64,130	63,792
その他（純額）	31,049	28,270
有形固定資産合計	126,448	122,874
無形固定資産		
投資その他の資産	2,668	2,446
投資有価証券	86,829	89,976
その他	9,528	6,965
貸倒引当金	△2,420	△48
投資その他の資産合計	93,937	96,894
固定資産合計	223,055	222,215
資産合計	363,075	373,491

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,571	18,570
電子記録債務	5,898	6,862
短期借入金	22,928	38,853
コマーシャル・ペーパー	—	4,000
1年内償還予定の社債	20,000	—
未払法人税等	720	5,869
引当金	3,375	2,222
その他	14,522	13,392
流動負債合計	85,016	89,772
固定負債		
社債	10,000	20,000
長期借入金	59,142	33,694
引当金	1,096	1,211
退職給付に係る負債	6,940	6,364
資産除去債務	2,256	2,191
その他	3,202	2,671
固定負債合計	82,639	66,133
負債合計	167,656	155,905
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	42,020	42,020
資本剰余金	45,341	45,341
利益剰余金	112,891	132,989
自己株式	△9,702	△9,638
株主資本合計	190,550	210,712
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,343	3,832
繰延ヘッジ損益	△18	16
為替換算調整勘定	△949	1,657
退職給付に係る調整累計額	775	684
その他の包括利益累計額合計	4,151	6,191
新株予約権	102	68
非支配株主持分	614	613
純資産合計	195,419	217,585
負債純資産合計	363,075	373,491

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	161,596	193,984
売上原価	137,279	147,530
売上総利益	24,316	46,453
販売費及び一般管理費	27,207	29,979
営業利益又は営業損失(△)	△2,890	16,473
営業外収益		
受取利息	20	19
受取配当金	746	754
持分法による投資利益	4,172	4,186
その他	1,711	2,416
営業外収益合計	6,651	7,376
営業外費用		
支払利息	331	293
為替差損	549	—
休業手当	464	6
賃貸費用	182	196
その他	489	240
営業外費用合計	2,018	737
経常利益	1,742	23,113
特別利益		
固定資産売却益	48	6,981
投資有価証券売却益	5,323	0
持分変動利益	267	—
資産除去債務戻入益	327	—
受取保険金	315	34
退職給付債務戻入益	—	77
その他	1	—
特別利益合計	6,282	7,093
特別損失		
固定資産除売却損	878	665
減損損失	3	—
災害による損失	—	35
固定資産圧縮損	17	31
投資有価証券売却損	3	—
投資有価証券評価損	1,229	18
事業構造改善費用	792	—
独占禁止法関連損失引当金繰入額	—	360
特別損失合計	2,925	1,110
税金等調整前四半期純利益	5,100	29,096
法人税、住民税及び事業税	873	6,358
法人税等還付税額	△1,071	—
法人税等調整額	△2,161	108
法人税等合計	△2,358	6,466
四半期純利益	7,459	22,629
非支配株主に帰属する四半期純利益	77	49
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,381	22,580



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	7,459	22,629
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,000	△344
繰延ヘッジ損益	△39	29
為替換算調整勘定	△950	2,644
退職給付に係る調整額	100	△64
持分法適用会社に対する持分相当額	55	△187
その他の包括利益合計	166	2,077
四半期包括利益	7,625	24,707
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,552	24,620
非支配株主に係る四半期包括利益	72	87

**(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項****(継続企業の前提に関する注記)**

該当事項はありません。

**(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)**

該当事項はありません。

**(会計方針の変更)****(収益認識に関する会計基準等の適用)**

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、取引に係る収益の一部について、従来は、総額で収益を認識しておりましたが、顧客への財の提供における役割(本人又は代理人)を判断した結果、代理人取引であると判断した取引については、純額で収益を認識する方法に変更しております。

また、顧客に支払われる対価の一部について、従来は、販売費及び一般管理費として処理する方法によっておりましたが、取引価格から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結結果計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高への影響は軽微であります。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

**(時価の算定に関する会計基準等の適用)**

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

## (セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	紙パルプ 事業	パッケー ジング・ 紙加工事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	143,505	12,044	155,549	6,047	161,596	—	161,596
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,872	48	1,920	18,962	20,883	△20,883	—
計	145,377	12,092	157,469	25,010	182,479	△20,883	161,596
セグメント利益又は損失(△)	△3,753	100	△3,653	276	△3,377	486	△2,890

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材事業、古紙卸業、建設業、運送・倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額486百万円はセグメント間取引消去に伴う調整等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	紙パルプ 事業	パッケー ジング・ 紙加工事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	177,491	10,512	188,003	5,981	193,984	—	193,984
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,927	25	1,953	16,477	18,431	△18,431	—
計	179,419	10,537	189,957	22,458	212,416	△18,431	193,984
セグメント利益	15,406	15	15,421	648	16,069	403	16,473

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材事業、古紙卸業、建設業、運送・倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額403百万円はセグメント間取引消去に伴う調整等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。